まなびや縁側の１年間とこれから

2020年4月、日野郡３町の公設塾として設立したまなびや縁側～ENGAWA～。
今回の特集では、塾生の白迫健翔（しらさこけんと）さん、中村英明（なかむらひであき）町長、講師の佐々木俊宙（ささきとしひろ）さんに1年間の取り組みとこれから目指す姿について語ってもらいました。

設立に至った経緯

～令和を生きる若者たちが社会を学べる場を～

町長　これからの社会は学力だけでなく、移り行く時代に合わせ対応できる「考える力」が大切です。自分の将来を考えていく時期にあたる高校生に選択肢の幅を少しでも広げてほしいという思いがありました。

　選択肢を広げるには社会のことを知る必要があります。どのような仕事があり、どのような背景のもと何のために事業が行われているのかを知った上で自分はどうしたいのか、どのような仕事が向いているのかを考える時間が大切です。

　しかし日南町は町内に高等学校がなく、町外へ通わざるを得ません。進路選択という大事な時期にも関わらず、通学に時間を割かれます。そのような町出身の子どもたちへ、家の近くで手軽に、これから社会人となるためのキャリア教育を学ぶことができる塾を設立したいという思いがありました。

～可能性が広がるキャリア教育～

町長　キャリア教育と言っても幅広い意味合いです。世の中の仕事について知ることも、自分の興味ある事柄を探究することも、ふるさとについて知ることも全て含まれます。大切なのは自分の価値観や世界を広げることだと感じています。

～ふるさとを知ることも大切なキャリア教育～

町長　保育園児の散歩や和牛ふれあい体験、小学校での田植えやりんご狩り体験、中学校での探究学習や体験学習など、日南町では、保育園から中学校卒業まで地域に根付いた学習を行っています。しかし高校進学とともに子どもたちの地域との関わりは極端に減ります。高校生になっても町との関わりを切らさず、町のことを知ってほしい、目を向けてほしいという思いもありました。

まなびや縁側の取り組みと成果

佐々木　テストや入試対策はもちろん、興味があることを学ぶ探究学習や外部講師による講座、地域の方との交流など生徒一人一人に合わせてオリジナルのスケジュールを立てて学習を進めています。（詳細は下段）

一年間を振り返って

佐々木　新型コロナウイルス感染症拡大により、オンラインからスタートしました。どうなることかと思いましたが、９月にはオープニングセレモニーを開くことができて良かったです。今年度はメディア露出も多く、まずは皆様に知っていただけたのではないかなと思います。推薦入試か一般入試かは分かりませんが、まなびや縁側に興味をもち、日野高校を受験してくれる子もいて、需要に合った取り組みだと再認識できました。実際に日野高校の推薦入試の倍率も昨年度比約３倍に増えており、まなびや縁側が少しでも高校選択の決め手になってくれていればと思います。

　課題としては、現在の生徒数であれば個別に対応できていますが、もしも来年度大幅に塾生が増えた際、どのように対応していくのかということと、ふるさと教育をしながら、いかに基礎学力の定着を試みるかだと思います。ふるさと教育を目的とした塾ではありますが、生きていく上で必要な基礎学力も大切なので、生徒に合わせバランスをとっていきたいです。

これからの縁側

町長　新型コロナウイルス感染症の流行もあり順調なスタートが切れない中、全てが手探りの新事業を講師の頑張りと色々な方々の協力のおかげで一定の効果と課題の発見がありました。幅広いキャリア教育を効果的に進めていくためには、地域で活躍する人や団体、企業などとの連携が一層必要になってきます。今後は現場のニーズに応えると共に、地域との連携強化に努めながらより効果の高いキャリア教育の実現を目指します。

日野郡　公設塾
まなびや縁側 ~ENGAWA~

まなびや縁側ホームページ
https://sites.google.com/view/manabiya-engawa

フェイスブック
https://www.facebook.com/manabiya.engawa/

問い合わせ：まなびや縁側　☎080－1338－0743
日南町教育委員会　☎82－1118

塾生、白迫さんに迫る！

坪倉農園にて採れたて野菜のおいしさにニッコリ

6月　農業に興味があり入塾。専門的な知識をもった先生方なので分かりやすく、苦手な数学も丁寧に教えてくれるところがいいと話す。（広報にちなん7月号14ページにも登場！）

8月　実際に日南町の農家（エコファーム（山上）と坪倉農園（山上））を訪れ勉強。坪倉農園では実際にアルバイトも経験し、自分が考えている「自然に優しい農業」について更に興味が増したよう。

8月　「アオハル合宿」に参加。縁側講師や外部講師による、学校ではあまり学ぶ機会のないさまざまな授業を体験。他校生徒や社会人とも交流。

10～11月　農業体験以外にも、十五夜の団子に例えた数列の学習や白谷工房中村さんによる寄せ木細工アクセサリーづくり体験、イベントの手伝いや、小学生との交流など様々な活動に参加。

12月　塾講師の勧めで「金融と経済を考える第18回高校生小論文コンクール」に応募。自然と共存し、人に優しい農業について考えを綴る。

　１８０２点の中から日本銀行総裁賞を受賞。県内初の快挙！

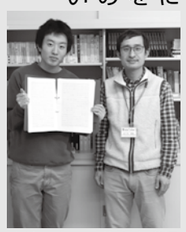
12月　インターネットを通じて日本各地の大人とつながり、地域課題の解決や、発展する未来を手に入れるためのアイデアを高校生など18歳以下が考える探究イベント「innovationGO」に参加。（主催（一社）i.club）全国の高校生とも交流。

12月　日南町で行われたセミナー「トヨタ式『豊作計画』に学ぶ農業ＩＴツールの活用術」に参加。

2月　学びたいことに関して、積極的に探求学習を行う。この日は松尾農園（多里）を訪問。椎茸栽培について学ぶ。

塾に通ってみてどうですか？

自分のしたい勉強だったり、探究学習ができたりするところがいいところだなと思いました。全教科の成績もあがりました。一人一人にあった勉強法を教えてくれるので分かりやすいです。


白迫さん　佐々木講師